

税金から1370万円
補助金団体
なのに

市協が部落解放同盟に市長選・市議選にお金を出していた

飯塚市から補助金 1370 万円をもらった部落解放同盟飯塚市協議会が、市長選や市議選の出陣式に、お金を出していました。日本共産党市議団（2人）が、情報公開請求で入手した資料にもとづいて明らかにし、代表質問（3月5日、ゆいかんじ議員）、一般質問（7日、川上直喜議員）でたどしました。

市議会レポート
日本共産党が徹底追及へ

補助金使用チェック
無責任はどこから

部落解放同盟が、2006年度に市から受け取った補助金は、約5632万円（6団体合計）。今回、党市議団が入手した資料は、使用状況をチェックするために市人権同和推進課が作成したものです。

6団体のうち飯塚市協議会の部分を見ると、4月16日に「飯塚市長選挙斉藤守史氏出陣式2万5千円」、翌年3月4日に「松本友子出陣式（選対事務所）7万3千円」の記載があります。

寄付行為なら、政治資金規正法違反（3年以内の禁

錮又は50万円以下の罰金）になります。出陣式参加者に対する日当であれば、公職選挙法（買収）に抵触する恐れがあります。2つの支出について市担当課は党市議団に、「出陣式参加者25人に対する日当。領収書も確認した」と、説明していました。財源が何であれ補助金めぐる大問題

財源が何であれ補助金めぐる大問題

「2万5千円の支出」について市長は、「寄付を受けた覚えはない」と答弁。ところが、市企画調整部長は、「闘争費」というだけ。「日当」とは答えませんでした。市長の答弁を否定したのでしょ

たのでしょうか。

寄付なら「政治資金規正法に違反」

参加者の日当なら「公選法に触れるおそれ」

「市長選挙斉藤守史氏出陣式2万5千円」

「松本友子出陣式（選対事務所）7万3千円」

どうなってるのこの答弁

市長
企画調整部長「寄付つけた覚えはない」と否定
2つの支出
監査事務局長「見落としがあった」と謝罪
企画調整部長「適正に執行。事実関係は合致する」

4千万円は特定個人に

- 補助金の7割にあたる約4千万円は、人件費や費用弁償として特定個人への支出です。
- 「補助対象外」といいながら選挙、狭山闘争の支出には、補助金か独自財源か、区別なし。
- 研修費500万円に関する市のチェックでは、目的はあいまい、研修期間、行先、参加人数など不明が多数です。
- 特別会費「住宅入居1万円」は、同和住宅入居のあっせん料では」の質問に答えず。

市長答弁（川上議員の一般質問）
「適正に行われているという認識の下に、今までありましたけれども」「今までのことが確かなのか不確かなのかはっきり見ながら、これからの補助金交付等については考えてまいりたい」

市長、市議 団体関係者 参考人招致して調査を
2つの支出について監査委員会は、「見落としがあった」（事務局長）と答弁。調査の必要性を示唆しました。市長、関係市議とあわせ、部落解放同盟の関係者を市議会に参考人招致する必要があります。

何をチェックしたの？

研修費500万円

	時期	期間	行先	参加(人)	費用(万円)
市協	11月	不明	指宿市霧島市	24	50
地協	11月	不明	夕張市	不明	260.9
穂波	3月	一泊	不明	不明	41.3
筑穂	3月	不明	不明	26	108.6
庄内	2月	不明	不明	不明	38.5

市長が「これからの補助金交付等は考える」
日本共産党の指摘を受け認識あらためた？